

春





ノゲシ 野芥子

科名:キク科

花期:3月～8月

畑や道ばたなどにごく普通に生える1～2年草。

春から秋にかけてタンポポのような黄色い花をつける。茎は50～100cmで柔らかく中空。葉も柔らかく、茎を抱いているのが特徴。別名ハルノゲシ。



オニノゲシ 鬼野芥子

科名:キク科

花期:3月～8月

野原や荒地などに生えるヨーロッパ原産の2年草。

高さは1mほどで、径2cmの黄色い頭花をつける。葉は厚くふちに鋭い棘があり、ノゲシより全体に荒々しい感じがする。



キジムシロ 雉薺

科名:バラ科

花期:3月～4月

山野に普通に生える多年草。茎は根元から放射状に広がり、先端に黄色い5弁花をつける。茎や葉が丸く広がる様を雉が座る筵に見たてて名付けられた。前山の西側や中山に見られる。



カントウタンポポ 関東蒲公英

科名:キク科

花期:3月~5月

関東地方に多い多年草。最近セイヨウタンポポに押され少なくなりました。

セイヨウタンポポと違い、総苞片が反りかえていないので容易に区別がつく。



セイヨウタンポポ 西洋蒲公英

科名:キク科

花期:3月~6月

ヨーロッパ原産の多年草。明治時代に野菜として栽培されていたものが野生化したといわれている。一年中花を咲かせ、繁殖力は旺盛で日本のいたるところで勢力をのびしている。



ミツバツチグリ 三葉土栗

科名:バラ科

花期:4月

山野の日あたりのよいところに生える多年草。高さは15~20cmになり、根もとから走出枝(ランナー)を出し、その先に小株を作って繁殖する。葉は長さ2~5cmの3枚の小葉からなり、径1~1.5cmの黄色い5弁花をつける。



シュンラン 春蘭

科名:ラン科

花期:3月~5月

山野の落葉樹林内に生える常緑の多年草。高さ10~25cmの花茎は、葉より低く、その先端に4~5cmの淡黄色の花を1個つける。唇弁に紅紫色の斑点がある。別名ジジババの名前で親しまれている。



タチツボスミレ 立坪菫

科名:スミレ科

花期:3月~5月

日本のスミレの代表種。人家周辺から山野まで普通に見られる多年草。比較的早くから開花する。高さ5~15cm、花茎の先に淡紫色の花をつける。花後、更に茎はのびて30cmに達する。



ツボスミレ 坪菫

科名:スミレ科

花期:4月~5月

山地のやや湿った草地に生える多年草。茎は根もとから枝を分け株立ちになり高さ10~20cmになる。花は径1cmくらいの小さな白い花で、唇弁に紫のすじがある。

別名ニョイスミレ。



アマナ 甘菜

科名:ユリ科

花期:3月~4月

山麓や野原、土手などに生える多年草。葉は根元に2枚つき、高さ15~20cmの花茎の先端に、白地に暗紫色のすじの入った花を1個つける。鱗茎が甘く食べられるところから名付けられた。



ヒトリシズカ 一人静

科名:センリョウ科

花期:4月

山地の林下や日のあたる草地に生える多年草。10~20cmの茎を数本まとまって立てる。上部に2対の葉が対生、茎の先に穂状の白い花をひとつつける。この姿を静御前の舞姿に例えて名付けられた。



センボンヤリ 千本槍

科名:キク科

花期:4月~6月

9月~11月

山野に生える多年草。ロゼット状の葉の間から、春は10cmの花茎の先に白色の花をつける。秋には高さ30~60cmの茎の先に閉鎖花をつける。綿毛のある果実を槍に見立て名付けられた。



キラソウ 金瘦小草

科名:シソ科

花期:4月

畑や庭、道ばたなど人里のいたるところに生える多年草。茎は放射状に地を這い広がる。葉の脇に濃紫色の唇状花をつける。地を這う姿からジゴクノカマノフタとも云われている。



ジュウニキラソウ

十二金瘦小草

科名:シソ科

花期:4月~5月

キラソウとジュウニヒトエの自然交配種。乾燥気味の場所を好む多年草。葉はキラソウのようにロゼット状になり。茎は直立する。茎の上部に1cmの紫色の花を数個つける。



ウラシマソウ 浦島草

科名:サトイモ科

花期:4月~5月

平地や低山の野原や林に生える多年草。やや湿った場所を好む。花は仏炎苞に包まれた肉穂花序で、その先端を釣り糸のように長くのばす。この姿を浦島太郎の釣り竿に見たて名付けられた。



ムサシアブミ 武蔵鐙

科名: サトイモ科

花期: 4月～5月

林の中のやや湿った場所に生える多年草。葉柄の間から葉よりやや低い花柄を出し、仏炎苞に包まれた肉穂花序をつける。仏炎苞は白緑色で白いすじが目立ち、この形が鐙に似ていることから名付けられた。果実は赤く熟す。



ネコノメソウ 猫の目草

科名: ユキノシタ科

花期: 3月～5月

山地や丘陵の沢などの湿ったところに生える多年草。5～15 cmの花茎の先端に2 mmほどの淡黄色の小さな花を多数つける。果実は熟すと二つに割れ、中の種が猫の目に見えることから名付けられた。



フデリンドウ 筆竜胆

科名: リンドウ科

花期: 4月

山地や野原の日あたりのよいところに生える2年草。高さ5～10 cmの茎の先端に長さ2～2.5 cmの青紫色の花を上向きにつける。陽が陰ると花を閉じ筆のような形になる。



カキドオシ 垣通し

科名:シソ科

花期:4月~5月

野原や畑、道ばた、庭などどこにでも見られる多年草。茎は直立して高さ5~25 cmになる。花が終わると倒れ、節から根を出して広がる。葉のつけ根に淡紫色の唇形花を1~3個ずつつける。



アマドコロ 甘野老

科名:キジカクシ科

花期:4月~5月

山地や野原の日あたりのよい草地に生える多年草。茎には稜があり、高さ30~70 cmになる。葉のわきから二つに分かれた花柄を出し、その先に長さ2 cmほどの緑白色の花がぶらさがってつく。



ホウチャクソウ 宝鐸草

科名:イヌサフラン科

花期:4月~5月

山地や丘陵の林内に生える多年草。高さ30~60 cmになる。上部で枝分かれして、先端に2 cmほどの緑白色の花が1~3個ずつたれ下がる。花の形が寺院の宝鐸に似ていることから名付けられた。



ニガナ 苦菜

科名:キク科

花期:4月~5月

山地や野原のいたるところで見られる多年草。茎は細く、上部で枝分かれして 30~50cmになる。枝先に径 1.5cmほどの黄色い頭花をつける。葉や茎を切ると、苦味のある乳液を出すことからこの名がある。



カラスビシャク 烏柄杓

科名:サトイモ科

花期:5月~6月

山地の道ばたや畑に生える多年草。葉は 3 枚の小葉がある複葉。花茎は葉より高く 20~40cm になり、先端に緑色の長さ 5~7cm の仏炎苞に包まれた肉穂花序をつける。



キツネアザミ 狐薊

科名:キク科

花期:5月~6月

野原や道ばた、田畑などに生える 2 年草。高さ 60~90cm になり、枝先に紅紫色の頭花を上向きにつける。アザミのような刺はなく、葉裏は白い。名前はアザミと間違えるから。



サイハイラン 采配蘭

科名:ラン科

花期:5月~6月

山野のやや薄暗いところに生える多年草。葉は通常1枚で、30~40cmの花茎を出し、淡紫褐色の花を下向きに多数つける。この姿を、武将が合戦のときに使用した采配に見たてて名付けられた。



クジュウツリスゲ

久住吊菅

科名:カヤツリグサ科

花期:5月~6月

高さ50~60cmの多年草。長い花茎の先端に雄花、下方に雌花をつける。北九州その他に隔離分布する希少種。最近、浅間山で生育しているのが判明した。今後、種保存の管理が必要。



ヤブレガサ 破れ傘

科名:キク科

花期:7月~8月

コナラやクヌギ林に多い多年草。春先の若い葉は破れた傘に似ている。名前もこれによるので春の花に入れた。夏には花茎の先に白または淡紅色の花をつける。